

2018年度教育研究活動報告用紙(様式9(2018))

氏名 一期 崎 直 美	職名 講 師	学位 修士(教育学)(熊本大学 2010年)
-------------	--------	------------------------

研 究 分 野	研究内容のキーワード
養護教育	養護教諭、専門職、ケア

研 究 課 題
養護教諭による子どもへのケアを社会的に研究していく予定である。現在、養護教諭の仕事に関する教育学の研究を検討し問題の所在を定め、次に専門職に関する社会学を検討し、理論枠組みを構築した。今後、養護教諭の社会調査から理論枠組みを検討する。

担 当 授 業 科 目
初年次セミナーⅠ、健康相談活動、事前及び事後の指導(4年生)、養護実習、教育実習Ⅰ、公衆衛生看護学概論、看護総合演習、看護総合実習(前期)(看護学科) 初年次セミナーⅡ、学校保健教育法、学校保健、養護概説、教職実践演習(養護教諭・中・高等学校)、事前及び事後の指導(3年生)(後期)(看護学科)

授業を行う上で工夫した事項(※ 助手については、実習・演習等の指導を行う上で工夫した事項)
<p>授業科目名【初年次セミナーⅠ】</p> <p>① スタディスキルズ(聞く、調べる、読む、書く、考える)の修得は、ミニレポート作成からレポート作成へとレベルをあげ段階をおってすすめた。レポート作成にはグループ学習を取り入れ、学生間でコミュニケーションをとり意見交換しながら取り組むようにした。</p> <p>② 毎回の講義の概要や疑問点・調べたことなどを500字程度にまとめさせた。また、学修ポートフォリオを作成させ、主体的学習を促すとともに学修の達成状況をチェックした。</p> <p>③ 学習修得に向けモチベーションの向上を目指し、学外の実習施設(医療機関)から実習指導者を招き講演をしていただいた。</p> <p>④ 科目の評価視点は、DPにそって評価指標を作成し、事前に学生に明示し説明を加えた。各自に印刷物として配布した。</p> <p>⑤ 情報倫理や図書・文献の検索法などの講義は、情報課および図書課と連携し行なった。</p> <p>⑥ 本科目は10名の教員で担当する科目である。詳細な打ち合わせを行なうことで講義内容及び成績評価に差が出ないようにした。</p>
<p>授業科目名【健康相談活動】</p> <p>① 本科目は養護教諭が行う健康相談について学ぶ。健康相談を行う養護教諭自身が心の健康を保つことが重要となる。そのため、学生自身が自己理解を深めるような演習を取り入れた。</p> <p>② 養護教諭の健康相談に必要とされる心理学領域の基礎理論を学習し、演習で理解を深めた。</p> <p>③ 養護教諭の職務の特質および保健室の機能を活かした健康相談の基礎・基本を身につけるために、演習では、事例を活用した。</p> <p>④ 学校における課題を抱える子ども(虐待、不登校など)への理解を深めるだけでなく、そのような子どもたちへの対応についても学生同士で討論させ理解を深めさせた。</p> <p>⑤ 保健室来室者への対応場面の演習では、ロールプレイを取り入れ、その後、学生同士での振り返り場面を設定し各自の対応を省察するようにした。</p>

授業科目名【事前及び事後の指導】(前期) 4年生

- ① 初めての教職課程の実習(4年次)である。実習校での実習内容(授業や参加行事)について、可能な限り学生に情報を収集させ、その内容を講義の演習に取り入れて進めた。
- ② 学生は、実習で初めて児童生徒へ授業を行うため、学生の指導計画作成や教材づくりは、授業時間外でも支援した。
- ③ 学生が行う模擬授業の評価は、事前に学生に提示し、学生同士の評価の機会を取り入れ授業内容を検討した。
- ④ 実習後に学生同士が実習校での学びを共有することを目的に、実習発表会を実施した。
- ⑤ 実習発表会は、学生が主体的な取り組みとなるよう、発表会の役割は学生が担うように指示した。また、その発表会でのプレゼンテーション資料作成は、授業時間外で支援した。
- ⑥ 次年度実習予定の3年生が参加できるよう発表会の時間設定を工夫し、他学年との連携を図った。

授業科目名【教育実習Ⅰ】

教育実習は、高等学校教諭一種免許状(看護)の取得のために行う、高等学校における2週間の実習である。学校の生徒の実態や教員の実際の働き等について学ぶ。そのため、事前及び事後の指導の講義と教育実習が連動するように講義日やその内容について計画した。また、実習に向けて、心身の準備を整えることや、実習目標を明確にし、学生自身が目標に到達できるよう、事前に面談した。

授業科目名【養護実習】

養護実習は、養護教諭一種免許状取得のために行う、学校での3週間の実習である。養護教諭の実際の働き等について学ぶ。そのため、事前及び事後の指導の講義と養護実習が連動するように講義日やその内容について計画した。また、実習に向けて、心身の準備を整えることや、実習目標を明確にし、学生自身が目標に到達できるよう、事前に面談した。

授業科目名【公衆衛生看護学概論】

- ① 公衆衛生看護学概論の中で、学校保健について3時間の講義を実施した。学校保健の概要、現在の児童生徒の健康面に関わる課題、学校保健を主に担う養護教諭の役割について、講義と演習を各時間に取り入れた。
- ② 特別支援教育が必要な子どもについては、DVDなどの映像等を活用して学生の理解を深めた。
- ③ 学校保健における課題(いじめや不登校や自殺など現代的な子どもの課題・特別支援教育など)について、事例などを用いて学生が考える演習を設定した。

授業科目名【初年次セミナーⅡ】

- ① 初年次セミナーⅠで学修した基礎的知識・スタディスキルズ(聞く、調べる、読む、書く、考える)の学びを基礎に、「発表する」「討論する」を強化するために、レポート作成とそのテーマでプレゼンテーションをする機会を設けた。
- ② 個人ワーク、グループワークを取り入れた演習を行なった。具体的には、グループで一つの課題に取り組み、章立てし、各自が一つの章を担当して一つの冊子づくりを行なった。冊子づくりを行なうことで、各自が全体を把握しながら自分の担当に責任をもち取り組むことができたと考える。
- ③ さらに、上記冊子にまとめた内容について、レジュメ作成、パワーポイント作成、発表原稿作成を行ない、プレゼンテーションをさせた。課題発見から発表までの一連のプロセスをグループで取り組むことで、他者の意見を聞き、自分の考えを述べる機会となり、スタディスキルズ(聞く、考える、討論する)の強化につながった。また、司会・進行など経験させることで、役割意識をもたせた。
- ④ 評価は、DPにそって評価指標を作成し、事前に学生に明示して説明を加えた。学生は自己評価を行ない、自己の振り返りを行なうことができていた。
- ⑤ 本科目は10名の教員で担当する科目である。初年次Ⅰ同様に詳細な打ち合わせを行なうことで講義内容および成績評価に差がでないようにした。さらに、プレゼンテーションでは、教員2名～3名で評価を行なうことで、評価に差がでないようにした。

授業科目名【学校保健教育法】

- ① 学校保健教育法は、教職課程における養護教諭一種免許状取得希望学生を対象とする科目である。学校で養護教諭になった際に保健教育が担えるよう、歯の健康づくり、性に関する教育、環境教育、安全教育、喫煙・飲酒・薬物乱用防止に関する教育について事前学習するように指導した。
- ② 学校での保健教育と関連する学習指導要領の知識を学生に確認しながら進めた。

<ul style="list-style-type: none"> ③ 保健教育に必要な知識を踏まえた上で、模擬授業などの演習と連動するように授業を構成した。 ④ 演習課題については、ブレインストーミングやロールプレイ等の教授方法が身につく事例を提示した。 ⑤ 各学生が実施した模擬授業について、学生が振り返ることができるよう他者評価やビデオ等を活用した。 ⑥ 情報活用能力を児童生徒に育成するため、学校保健におけるICT活用につながるデータベースなどを学生に紹介した。 ⑦ 授業時間外でも、学習指導案や教材の作成などの学生への個別支援を行った。
<p>授業科目名【学校保健】</p> <ul style="list-style-type: none"> ① 学校保健は、学校における保健活動を学ぶ講義である。学生の能動的な学習を促すために、授業における事前学習課題をポートフォリオするように指導した。 ② 授業中に事前学習について学生に発表の機会を設け、その後、事前学習の重要点の解説だけでなく、学校における実際の保健活動について解説した。 ③ 事前学習を活用させるために、事前学習を用いたテーマで学生が討論する機会を設定した。 ④ 学校保健でよく利用するホームページや電子書籍サイトの使用方法について紹介し、実際に必要な資料は学生がダウンロードし、授業中に活用するように設定した。
<p>授業科目名【養護概説】</p> <ul style="list-style-type: none"> ① 養護概説は、学校保健の活動を養護教諭として実践していくために必要な基本的な知識などを学ぶ講義のため、学校保健の内容と連動するように構成した。 ② 学生の能動的な学習を促すために、授業の事前学習課題をポートフォリオするように指示した。 ③ 授業中に事前学習について学生に発表の機会を設け、養護教諭の職務の重要な点や学校で養護教諭の具体的な活動について解説した。 ④ 養護教諭が学校で行う主な仕事について演習（健康診断の検査・児童生徒への保健指導・救急処置・環境衛生検査・保健だより作成）を取り入れた。 ⑤ 救急処置・保健指導などのロールプレイは、学生が養護教諭と子どもという相互の役割を担うように設定し、振り返りには、自己評価および他者評価を取り入れた。
<p>授業科目名【看護総合演習】</p> <ul style="list-style-type: none"> ① 看護総合演習は、各個人で看護実践における自己の課題を探求し、看護総合実習に向けて計画を立案し、実習終了後テーマに基づきレポートを作成していくために個別指導を含めて支援した。 ② 学生の実習時期が学生によって数か月離れていたため、学生を2グループに大別して指導した。 ③ 3年次の看護研究での既習事項を振り返りながら進めた。 ④ 量的研究の統計処理は、パソコン室を利用して、模擬的なデータで統計処理を実施した。 ⑤ 看護の専門性をいかした実習校での保健指導が実践できるよう、指導計画や模擬授業を支援した。 ⑥ 実習後は、実習について個人で振り返るだけでなく、グループでの振り返りや実習発表会で、各自の学びを共有できるようにした。 ⑦ 各自のレポートについては、授業時間外にも個別支援した。
<p>授業科目名【看護総合実習】</p> <ul style="list-style-type: none"> ① 看護総合実習は、看護実習の集大成と位置づけられ、主体的に計画から展開していくことが重要になるが、現場の状況に応じて担当者で日程調整をおこなった。 ② 学校保健の領域は、養護教諭の職務を体験し、担任などの他職種と連携しながら、学級で保健指導（授業）を実践させていただく。実施させていただく保健指導の準備を看護総合演習で支援し準備した。 ③ 実習中、学生が学級で保健指導（授業）を実践する際は、可能なかぎり参観し、保健指導の内容を改善していくよう、現場の指導者と連携して指導した。
<p>授業科目名【教職実践演習】（養護教諭）</p> <ul style="list-style-type: none"> ① 教職課程における学び及び実習を振り返らせ、教員になるための課題を考え解決へと結びつけていくための集大成の講義である。外部講師（特別支援教育・地域家庭との連携）を招き、学生の学びを深化させるように機会が設定されている。 ② 教職課程担当者全員で指導を行う授業には参加し、学生の状況を把握した。主に看護学科の養護教諭志望学生の講義を担った。 ③ 他学科の学生と発表や討論を行う講義を企画した。 <ul style="list-style-type: none"> ・福祉学科養護教諭志望学生とグループを組み、性に関する保健指導を学生が実施するよう企画した。

- ・栄養学科栄養教諭志望学生と看護学科養護教諭志望学生で、相互の職務について発表したり討論したりするよう講義を企画した。
- ④ 特別支援学校における養護教諭の職務や子どもたちの実態を学ぶために、特別支援学校へ参観できるような機会を設定した。
- ⑤ 学校保健研修会に実際に参加させていただき、学生が実際の学校現場の学校保健活動の実践について学ぶ機会を設けた。

授業科目名【教職実践演習】(中・高等学校教諭)

- ① 教職課程における学び及び実習を振り返らせ、教員になるための課題を考え解決へと結びつけていくための集大成の講義である。外部講師(特別支援教育・地域家庭との連携)を招き、学生の学びを深化させるように機会が設定されている。
- ② 教職課程担当者全員で指導を行う授業には参加し、学生の状況を把握した。中・高等学校教諭の講義は、主に学生の模擬授業の際に参加した。
- ③ 高等学校看護教諭の模擬授業に関しては、事前の指導案作成に協力した。

授業科目名【事前及び事後の指導】(後期)3年生

- ① 3年次の事前及び事後の指導の講義は、学生の看護実習(3年次)の終了時期を考慮し計画した。
- ② 3年後期の実習前の講義は、実習に向けて準備を整えるために、実習前オリエンテーションで現場の教員を講師の調整を図った(現職養護教諭)。
- ③ 実習に向けて意識や実習での実践力を高めるよう、実践的な演習を中心に授業を進めた。

学 会 に お け る 活 動

所属学会等の名称	役職名等(任期)	加入時期
日本学校保健学会		2008年5月
日本養護教諭教育学会		2008年9月
日本健康相談活動学会		2009年1月
日本教育保健学会		2013年3月
日本看護協会		2015年
日本看護学教育学会		2016年4月

2018年度 研究業績等に関する事項

著書、学術論文等の名称	単著・ 共著の別	発行又は 発表の年月	発行所、発表雑誌等 又は発表学会等の名称	概 要
(著書)				
(学術論文)				
(翻訳)				
(学会発表)				
				教育研究業績 総数 (2019.3.31現在) 著 書 1 (内訳 単0 , 共1) 学術論文 4 (内訳 単1 , 共3) 翻 訳 0 (内訳 単0 , 共0) 学会発表 8 (内訳 単4 , 共4)

外部資金（科学研究費補助金等）導入状況（本学共同研究費を含む）			
（１） 共 同 研 究			
研 究 題 目	交付団体	研 究 者 ○代表者（）内は学外者	交付決定額 (単位：円)

外部資金（科学研究費補助金等）導入状況（本学共同研究費を含む）			
（２） 個 人 研 究			
研 究 題 目	交付団体	交付決定額 (単位：円)	備 考

社 会 に お け る 活 動 等		
団体・委員会等の名称 (内 容)	役 職 名 等	任 期 間 等

学 内 に お け る 活 動 等 （役職、委員、学生支援など）	
教職課程委員会委員	2018年4月1日～2019年3月31日
FD委員	2018年4月1日～2019年3月31日
看護学科1・4年アドバイザー	2018年4月1日～2019年3月31日
教員免許更新講習コーディネーター	2018年4月1日～2019年3月31日